

11月2日(日) 12時~17時(開場11時半)

第9回KHJ全国大会のご案内

ウインクあいち小ホール 名古屋市中村区名駅4-4-38 (052-571-6131)

支部長会議：11月3日(月) 9時~12時 (同907号室)

全ひき連ニュース

旅立ち

ひきこもり

NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) 代表 池田 佳世
第75号 発行日 平成26年10月15日(水) 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4
Tel 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com
Facebook : http://www.facebook.com/khj.ho / Twitter : http://twitter.com/hikikomori_khj

厚労省「全国ひきこもり担当者会議」開催

「当事者の視点を行政の施策に 自治体はKHJとの綿密な連携を」



厚労省・行政説明で表明

厚労省主催のひきこもり
に特化した「ひきこもり対
策推進事業関係 都道府
県・指定都市担当者会議」
が8月22日、厚労省で開催
された。会議は、西辻浩総
務課長の開会挨拶から始ま
り、「行政説明」が厚労省
と内閣府の4人の担当者か
らあり、そのあと実践報告
が、兵庫県、KHJの8人、
佐賀県から行われた。
KHJは池田佳世理事長
の挨拶、上田さんの「ピア
サポ養成研修と実践成果」、
野中さんの「ピアサポ調

開会挨拶・社会・援護局
総務課長 西辻 浩氏
「ひきこもりはご家族や当
事者にとつて本当に深刻で
大きな問題」



自治体のひきこもり対策
担当の皆様、関係団体の皆様
日頃からひきこもり対策に
関わっていただきこの場を
お借りして御礼申し上げます。
ひきこもりはご家族や
当事者にとつて本当に深刻
な問題であり、大きな問題
です。ひきこもりの方の持っ
ている意欲や能力を十分に
いかすことができないこと
は社会にとつて大変残念な
ことであります。

あるものとする為に、自治
体、担当、関係団体の皆様と
情報を共有し、連携をとり
一緒に考えていくことを目指
すものです。この問題は個
人の問題ではなく、社会全
体で対応していく問題です。
当省は平成21年度から、ひ
きこもり当事者とご家族か
らの相談を受け、できるだけ
早い段階で適切な支援に繋
げることを目的に「ひきこも
り地域支援センター」の設置
運営に取り組んでおります。
また、昨年度からは、ひ
きこもりのご本人やご家族
に対して継続的できめ細か
な訪問支援を可能とする「ひ
きこもりサポーター養成研
修・派遣事業」を始めました。
従来からのひきこもり地域
支援センターにおける活動
に加え、訪問支援や既存の社
会資源を組み合わせたこと
で、可能な限り住み慣れた

地域で支援を受けることが
できる体制を作り上げたい
と考えて現在進めております。
今日はその後、ひきこも
り地域支援センターでの好
事例や「ひきこもりサポー
ター養成研修・派遣事業」
を先駆的に取り組まれた
ケース、さらには就労支援
などの報告があり、これか
ら各自自治体においてひきこ
もり施策の展開に当たって
必ずや参考となる話になる
と確信しております。
今後とも引き続き、国は
もちろんですが、都道府県、
指定都市、関係団体の皆様
が一緒になって協力するこ
とで、特に横の連携を一層
深め、ひきこもり施策がより
実効性、継続性のあるもの
なることを願っています。
(以下、2頁の「行政説明」
と「KHJの8人の報告と
訴え」へ続く)

宇奈月 ピアサポ研修・支部運営研修を開催 参加者全員「希望に燃え」「連帯」強まる



富山県宇奈月で9月20
21日、平成26年度社会福祉
推進事業の「ピアサポーター
研修・支部運営研修」が開
催された。
参加者は、ピアサポ研修24
人(若者11、親13)、支部運
営研修17、講師7、事務局3、
合計51名。1泊2日の会議で
全員が「燃えました」「これ
がひきこもりの会の会議か」
と「希望に燃えた」「明るく
楽しい会」になりました。

開会挨拶「僕にとつても物凄い会」中垣内正和副理事長
2年目の研修が各地で行われています。新
潟では9月13・14日行なわれ、厚労省の日
野課長補佐の講演。県の課長、市の部長が
初めて参加、来賓の挨拶があり、皆さんは
勿論、僕にとつても物凄い会になりました(3面左上記事
参照)。支援者やKHJの役割は新しい流れを作る、停滞・
沈殿を動かす物凄い大きな力を持っていると実感しまし
た。新潟県では「親の会に任せよう」と言う動き、埼玉県
のけやきの会が「埼玉県のひきこもり支援センター」受託
を打診中。日野さんも応援とのこと。頑張りましょう。



ひきこもりは
「生活困窮者の予備軍」
事務局の深谷さんから、8
月22日の厚労省資料を使い、
来年4月から、新たに始ま
る「生活困窮者自立支援法」
が施行され、ひきこもりも「生
活困窮者の予備軍」の位置
づけ、セフティーネットの
枠組みの中での対象という
のが国の取り組み。「本部と
支部が連携して取り組みま
しょう。」との提案。

茨城でKHJ支部誕生
司会の上田さんから、新支
部の紹介。力添えを頂いた池
上さんから「国の方針の中に
当事者・家族会が入っている。
是は画期的です。会が中核の
役割を担い、自治体を突き上
げて年齢制限など運用規則
を変えさせていきたいと思います」
との力強い挨拶があった。
佐潟荘の「ピアサポ倶楽部
の回復のステップ」体験
新潟佐潟荘の「ピアサポ
倶楽部」の中垣内先生、村田・
大矢さんの指導で、回復のス
テップを用いたワークミ
ーティングが行われた。(内容
は「旅立ち」(74号)参照)
16時から、「フォローアッ
プ研修」と「支部運営研修」
が行われた。
分科会・支部長研修
研修に17支部参加。最初
に支部の運営の取組み状況
についての報告。山形「から
ころセンター」から、当事者
をスタッフとした宅配事業
の運営取組みについて。浜松

分科会・認定フォローアッ
プ研修
昨年認定のピアサポー
ター24名が認定フォロー
アップ研修に参加。テー
マ別のグループ検討会。テー
マは昨年の研修課題5つに
絞られ、進行役の講師が一人
ずつ入った。
A…ピアを活かす訪問サ
ポート、B…ピアを活かす居
場所サポート、C…大人の
発達障害について、D…葛
藤の多い家族への関わり方、
E…その他の困難事例。
日頃のピアサポーター活
動での疑問や取り組みを、5
6名のグループに分かれ
て検討。対応の困難さを互
いに共有することで、「気持
ちが楽になった、いろんな
工夫が聞けてよかった」と
いう声があがりました。
続いて、親グループ、当
事者グループに分けて「ピ
アサポーター活動に関する
フリートーク」と「質問会(親
↓当事者、当事者↓親)」を
行った。その意図として「言
葉巧みな親サポーターの前
ではなかなか発言できない、



てくから、運営取組み
の心構えや農場の経営につ
いて。池田代表から、香川
「オリーブの会」が県から「ひ
きこもりサポーター養成講
習」受託への経緯について
のそれぞれの報告。最後に
伊藤進理事から「会運営の
ヒント」として、運営のノ
ウハウへの講義。続いての
部では「高齢化ってどうな
るの?」というテーマに沿っ
て静岡「いぶく会」から
会の事業と役員状況報告。
支部間の情報交換と交流が
深まった。
分科会・認定フォローアッ
プ研修
昨年認定のピアサポー
ター24名が認定フォロー
アップ研修に参加。テー
マ別のグループ検討会。テー
マは昨年の研修課題5つに
絞られ、進行役の講師が一人
ずつ入った。
A…ピアを活かす訪問サ
ポート、B…ピアを活かす居
場所サポート、C…大人の
発達障害について、D…葛
藤の多い家族への関わり方、
E…その他の困難事例。
日頃のピアサポーター活
動での疑問や取り組みを、5
6名のグループに分かれ
て検討。対応の困難さを互
いに共有することで、「気持
ちが楽になった、いろんな
工夫が聞けてよかった」と
いう声があがりました。
続いて、親グループ、当
事者グループに分けて「ピ
アサポーター活動に関する
フリートーク」と「質問会(親
↓当事者、当事者↓親)」を
行った。その意図として「言
葉巧みな親サポーターの前
ではなかなか発言できない、

ないですが手を繋ぐことで
人つていいなと思いました」
(東京)。「三膳さん来年も越
野寒梅をお願いします」(笑
い・千葉)。「同じ悩みを持
つ仲間と共有できたことが
印象的で、また再会したい」
(愛知)。「今回2回目ですが
さんとお会いできて本当に嬉
しいです。」(岡山)。
母親の感想「熱心に工夫
をしている方の話が聞けて
すごく良かった(東京)。「個
人情報の取り扱いが大事な
こと、押えておかなければ
と強く感じた(東京)。「知っ
てるつもりが抜けてる所だ
らけだ」と痛感した(浜
松)。「朝やった「かもめ」も
め」は月例会でも使えそう
だね」と(栃木)。「生活困窮
者自立支援法の話しが聞け
てラッキー(富山)。「直観
力や柔らかな心を大事にし
ようと思いました(福岡)。
「大分からは遠いのですが、
皆様に会えるのを楽しみに
来たが、本当に来て良かった
と思っています」(大分)。
父親の感想「ワーク
シヨップが、とても印象的
でした(東京)。「皆さんと
知り合って、私の財産です」
(新潟)。「安心できる居場所
のヒントを貰いました(富
山)。「今回初参加、一緒に
酒を飲み話したのは印象的
で、いろんな情報を知り、
戻って支部でやりたい」(神
奈川)。「皆さんの笑顔に出
会えたのが収穫。年2回やっ
て欲しい」(山形)。「懇親
会で各支部の話を聞けてよ
かった。もっと良かったの
は若者と親の立場から話が
できた(静岡)。「この研修
で特に良かったのは、当事
者が親に、親が当事者に質
問できたこと(愛知)。

参加者全員が感想
若者の感想「またお会い
できて嬉しいです。当事者の
方と同室になり、皆遅しく
なり、いい交流が出来ました」
(新潟)。「普段手を繋ぐ事は

厚労省「全国ひきこもり担当者会議」の続き

「厚労省と内閣担当者の行政説明」

「ひきこもり対策推進事業等について」
住み慣れた地域での支援の構築を

総務課・日野・課長補佐



様々な個別の事業が実施され、個別の事業の連携を取ることに、より効率的な支援が実現するものと思っています。今日は関係機関の夫々実施の事業を説明していただく事になっています。

ひきこもりに特化した会議は2回目です。実効性あるものにする為には、本日お集まりの都道府県・指定都市、当事者の団体KHJ親の会の方、そして私も国の立場が、横の連携を取りながら、それぞれ得意分野を活かして進めて行きたいと考えています。

ひきこもり関係は、内閣府でも青少年対策として行っています。厚労省でも、社会援護局のみならず、就労関係で職業能力開発局など

「就労支援について」

職業能力開発局育成支援課キャリア形成支援室・小山係長



「地域サポート」

「の概要を説明します。ニートは60万超で高止まり。15歳から34歳で、家事も通学もしていないとしており、サポステでは39歳まで支援しています。支援がないと将来生活保護に落ちることになるので、経済的に自立させ社会に送り出す支援です。サポステでは「相談支援事業」「学校連携推

る形です。

当事者の視点を行政の施策の中に入れることで実効性のある支援が実現出来る。唯一の全国組織の「全引連」は各県に支部があり、資料に連絡先や取組み状況があります。行政でしか出来ないこと、出来ること、当事者団体なら出来ること、夫々の団体の得意分野を生かして連携を計って頂きたい。

来年の4月から「生活困窮者自立支援法」が施行されます。それとひきこもり施策をどう関係させていくかは今後検討。市町村で核となる機関がないので、今後「住み慣れた地域」における支援の構築を念頭に置きながら考えて行きます。

昨年度の厚労省の委託事業として、KHJにモデル事業をやって貰いました。本年も引き続きやって貰っています。それを参考にしている状況です。思いと気持ちがこの内閣府の調査でよく解りますので、是非ともご覧になって下さい。

「家族に申し訳ないと思う事が多い」「他人がどう思っているかとても不安である」など、常に24時間考えている状況です。思いと気持ちがこの内閣府の調査でよく解りますので、是非ともご覧になって下さい。

「生活困窮者自立支援制度について」地域福祉課生活困窮者自立支援室・田代係長

ひきこもり支援で最大限に活用を

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査



「子ども・若者支援地域協議会について」

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査

ライン」は、ひきこもり施策の基本的な地域連携、家族への支援、当事者への支援、そして訪問支援が大事であると書かれています。

もう一つ、内閣府の「ひきこもりに関する実態調査」は非常に丁寧な調査がされ、例えば、小中学校でどんな経験をしたかで「我慢することが多かった」「友達にいじめられて」とか、ひきこもりになったきっかけも夫々理由別に取られていて、「職場になじめなかった」「病気で学校に行けなかった」がために、など、いろんなことを考えながらひきこもっている非常に苦しい中ひきこもっていることがこの調査でよく解ります。

「家族に申し訳ないと思う事が多い」「他人がどう思っているかとても不安である」など、常に24時間考えている状況です。思いと気持ちがこの内閣府の調査でよく解りますので、是非ともご覧になって下さい。

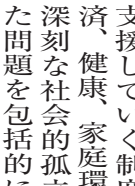
「生活困窮者自立支援制度について」地域福祉課生活困窮者自立支援室・田代係長

ひきこもり支援で最大限に活用を

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査



「子ども・若者支援地域協議会について」

「子ども・若者支援地域協議会について」内閣府生活統括官共生社会生活担当参事官付・横山主査

KHJ8人の報告と訴え 池田佳世理事長挨拶

KHJは全国唯一の全国組織で、40支部が加盟。「旅立ちの4頁に支部名を掲載しています。

近年話題は当事者も家族も高齢化し、長い年月の困難です。その中でKHJは昨年、「ピアサポ養成研修派遣事業」を実施。元当事者で認定者の訪問サポートの成果が出ています。この後その詳細を報告します。今年度、当会は全国5地区で同様の事業を行います。各自治体でも同様の研修を私共の報告を参考にやって下さるようお願いいたします。



「ピアサポ養成研修派遣事業報告書」上田さん

「ピアサポ養成研修派遣事業報告書」上田さん

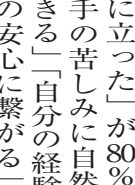


「ピアサポ養成研修派遣事業報告書」上田さん

「ひきこもりピアサポーター調査報告」野中さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん



「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

所に参加しサポート活動をしていきます。柏崎市幼女監禁事件の翌年から7年ほど引きこもっていた。佐潟荘で初めて居場所というものを知った。「大矢君、居場所に参加して下さい」と言われ「対人関係の訓練をするんだな」と理解しました。

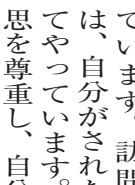
居場所リーダーは「ここでは自由に過ごしていいよ」と言うのです。自由も私には「何をすればいいのかわからない」という問題で困りました。

「ひきこもりピアサポーター調査報告」野中さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん



「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

「私の経験と居場所の取り組み」大矢哲裕さん

SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとする、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよそのSAD（社会不安障害）をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの？
全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL: <http://www.sad-net.jp/>

訪問サポート士養成
教本（基礎編）
価格1000円
FAX 048(756)7802
ひきこもり理解への必読所として

ルポ「ひきこもり」
価格800円
FAX 048(756)7802
行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

不登校・ひきこもりの方も安心
教育理念『1/1の教育』
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。

生徒第一...だから
生徒1人1人と向き合う
「1/1の教育」で生徒の自信と意欲を養います。

通信制高校（広域通信・単位制）
第一学院高等学校
4月よりウィザース高等学校・ウィザース ナビ高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました
TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp
全国76キャンパス（平成24年3月現在）

無料（通話料は自己負担）
引きこもり電話相談
☎ 03-5319-1430
火・木・土 PM1:00～5:00
第4土曜・祭日休み
KHJホットライン

不登校・ひきこもりの方も安心
教育理念『1/1の教育』
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。

生徒第一...だから
高認・大学受験予備校
4月より第一高等学院から学校名を変更し、生まれ変わりました
通学科 通信科
TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

厚労省「全国ひきこもり担当者会議」続き

荒川課長補佐の閉会挨拶

「なぜ役所が変わったか」

憲法25条、13条、29条を合わせて考える時代が来た



本日は半日間、大変ご苦
労様でございました。

お手元に資料があります。
本日の生活困窮者自立支援
法、この制度の創設者は山崎
史郎さんです。内閣官房に「ま
ち、ひと、仕事 創生本部」
ができ、今後、皆さんの地
域を元気づけようというプ
ロジェクトは、その方が提
唱し制度化されました。

抱えることになる。エーリッ
ヒ・フロムがアメリカカンド
リウムが盛んだった頃に「自
由からの逃走」と言う本で、
20世紀、21世紀を予兆する
予言を出しています。

ひきこもり者は、内閣府に
よると約70万人と言われて
いるが、我々は地域福祉の中
で早期発見、早期対応が非
常に重要であると考えます。
先日、名古屋での話で、私
の親父、お袋みたいな年配者
にも悩んでいる方がいます。
ひきこもりの状態は、深くな
るとなかなか脱却が難しく、
早期発見、早期対応が重要で、
そのことが、人の幸せに繋
がっていくと思います。

私は、哲学思考が大好きで、
18世紀頃から人間は自由だ
けの追求傾向があり、フロイ
ト、ヘーゲルしかり、追求し
過ぎると孤独、孤立の問題を
アハウスに助成などに積極的支援を行
たい。と話した。

次いで、三膳会長による親たちシン
ポ「4名の親の体験発表」、「当事者から
支援者へ」の経験発表、ワーク
「30名によるステップミーティン
グ」、石川さんの講演があり、懇
親会も大盛況となりました。

2日目、斉藤まさ子教授のK
HJ対象研究「家族の気持ち」、三
膳さんの講演、真壁あさみ教
授による「ひきこもり対応の
holplay」、中垣内先生の講演
がありました。

なお、保健師や民生委員の方
から、ひきこもりサポーター養
成研修に親の会を使うとの嬉し
い話も頂きました。この研修で、
4名の親と、3名の当事者が初めて発表
1名の会場係初めてのアルバイトとい
う成果があり、さらに県内4支部（佐渡、
村上、南魚沼など）の発足も内定。長野
支部の発足の可能性も出てきた。フォ
ローアップ研修は12月14日に行われる。

新潟、57人参加で
「ピアサポ研修」開催



9月13日と14日の両日、新潟県で北陸地区
ピアサポ研修会が開催された。研修参加は
57名（うち当事者13名、親19名、協働者（支
援者）25名、県外は富山、石川、福井、栃木、
東京、福山と8名）でした。

会には、厚生労働省社会援護局課
長補佐の日野さん、新潟県の障害福
祉課長、新潟市の福祉部長が並び、
来賓の挨拶を頂きました。県と市か
らの来賓は初め
てで、歴史的な
大転換の日とな
りました。

最終的には孤立との戦い
が待ち受けていて、なぜか
と言うことも社会的に考
える必要があり。最終的に
は、この問題は、認知
症問題と重なる所が多々あ
ると思っている。平成17年
の介護保険法改正で、第一
条に「尊厳」と言う言葉が
入りました。まさに、人の
幸せ、関係性を介護を通じ
た形で考えようという思い
があります。

「希望のひきこもり」
垣内正和
日野・以上をもちまして、平
成26年度「ひきこもり対策推
進関係 都道府県、指定都市
担当者会議」を終了いたしま
す。今後ともひきこもりの状
態にある方とそこご家族の
心へ届く支援を実現し、少
しでもそういった状況の方
々に光と希望を感じていただ
けるように、皆様方と協力
連携を図りながら、施策が形
式主義ではなく実効性ある
ものとなるよう、官民共同し
て、かつての日本の社会が
持っていた、人に対する思
いやりのある社会を築いて
いきたいと思っております。
本日は、長時間にわたり
本にお疲れさまでした。
（大きな拍手）

私は家族会を立ち上げ12
年間活動しています。昨年
のピアサポ研修には私も含
め4人が参加、親たちは会
のリーダーとして活躍し、
とても強くなりました。

「希望のひきこもり」
伊藤進
私から三つのお願いです。
①ひきこもりの9割以上
は居場所などの支援施設に
出られません。「ひきこもり
サポーター養成・派遣事業」
を各自自治体で実施し、②是
非、これを継続・発展して
下さい。③各県でKHJの支
部を含めた地域連携が進み
ますようにお力添えを、心
からお願ひします。最後に、
KHJの傍聴者全員を紹介。
（会場から大きな拍手）

一般社団法人
SCS

SCSカウンセリング研究所

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 JR東横線駅直下5分
TEL: 03-3918-0655 FAX: 03-3918-7873

メールアドレス: scsikedata@t.toshima.ne.jp ホームページ: http://www.scsself.com/

いろいろやってみて何層もぶりがえしたら「教育・親子本能療法」を。たとえ病名がついてても。

SCS
= Self actualization Counseling Society
自己実現カウンセリング研究所

SCSカウンセリング研究所は
ひきこもりに関する本人・父親・母親・その他困っている人に対し
カウンセリングや各種の講座、活動を通じて
人間成長を実現していく団体です

予約・お問合せ: 03-3918-0655

会報「旅立ち」 広告募集

会報「旅立ち」の広告を随時募集しております。

【お取り扱い可能な広告の種類】
ひきこもり・不登校・就労支援に関わる団体、イベントのご案内。
例) セミナー・シンポジウムの案内、通信制・定時制高校の案内、
発行月: 1、4、7、10月(4Pの冊子)
発行先: 当会の家族会支部、関係者、当会 HP
※ 発行部数 3,000 部程度 (さらに、HP に掲載)

お申込み方法
(1) お電話かメールにて発行月をご連絡の上、チラシの現物見
本または原稿を事前にご送付ください。お送り頂いた広告の採否に関しましては、理事会で検
討のうえ、お取り扱いの可否をご連絡いたします。(政治・宗教関連、マルチ商法関連、危険物
内容・料金が不明なもの、公序良俗に反するもの等についてはお取り扱いできません)
また、お断りの詳細な理由等についてのお問い合わせには応じかねますので、予めご了承下さい。
(2) 審査のご連絡を差し上げた後、こちらの指定期日までにチラシをご納品ください。

お申込み・問合せ先 NPO法人全国ひきこもり家族会連合会 事務局
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4
☎ 03-5944-5250 FAX: 03-5944-5290

山梨、鳥取に新支部誕生

山梨「桃の会」 鳥取「らくだの会」

8月16日、山梨「桃の会」誕生。山梨日日新聞社の全面的応援（会場手配、記事掲載）で、当日は、親、当事者など約100名が集まり、長い間、たらいまわしの相談で困っていた家族が立ち上がり、9月23日の2回目の



9月14日、鳥取「らくだの会」誕生。日本海新聞と山陰中央新報社に記事が掲載され、当日は、親、当事者、支援者が45名集まった。前日の鳥根県の家族会では、当事者の支部長と親で会をうまく運営されておき、池上正樹さんが「ひきこもりの現状」、池田が「ひ

KHJ本部「兄弟姉妹の居場所」

旅立ち74号でもお知らせしましたが、今年5月よりKHJ本部で毎月、「兄弟姉妹の居場所」を開催しています。居場所の前半は、参加者と本部カウンセラーによる



11月2日の愛知全国大会でも「兄弟姉妹の居場所」の時間を設けて、より多くの兄弟姉妹の参加を呼び掛ける予定です。（神田映子）

中垣内先生「ひきこもり外来の実践」

「医学の歩み」に掲載

中垣内先生の論文「ひきこもり外来の実践」が「医学の歩み」（7月26日号）に掲載されました。全文A4版7頁（255・261）です。その序文を紹介し



崩壊を示す社会病理であり、早期発見・早期対応、長期化防止、長期化・高齢化への支援、事件化の防止などが求められている。8年間、わたって、ひきこもり外来、居場所、親の会を組み合わせた社会参加プログラ

楽の会リーラ

キワニス社会公益賞を受賞

NPO法人楽の会リーラ（東京）の長年の地道な活動が評価され、平成26年7月4日、東京キワニスクラブからキワニス社会公益賞を受賞致しました。キワニス社会公益賞とは「社会公



安齋理事長は「名誉ある社会公益賞の受賞を機に、これからも不登校・ひきこもりの家族支援や、本人達の回復を目指してあらゆる資源を総動員してより有効な支援を続けます。」と抱負を述べています。

問合せ NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会） ☎ 03-5944-5250

☆親の会（月例会）問い合わせ先（2014年6月30日現在） 月例会に参加して気を楽にしたり情報交換しませんか

東北・北海道
KHJ 北海道「はまなす」（北郷恵美子） 〒064-0824 札幌市中央区北四条西 26 丁目 3-2 ☎ 090-3890-7048 ☎ &FAX 011-631-0981
NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会（泉 勝夫） 〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町 19-8 ☎ 019-605-8632 FAX 019-605-8633
KHJ 青森県「アップルの会」（川村克彦） 〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西 5-9-1634 ☎ & FAX 0178-88-5297
秋田県「かだれ会」（長信田の森心療クリニック） 〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢 1-2 ☎ 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134
NPO 法人 KHJ 宮城県「タオ」（武田和浩） 〒987-2183 栗原市高清水袖山 62-18 ☎ 0228-58-4755 FAX 0228-58-4756 ☎ 080-3193-6715
NPO 法人山形県「から・ころセンター」（伊藤正俊） 〒992-0026 米沢市東 2-8-116 ☎ &FAX 0238-21-6436
関東ブロック
NPO 法人楽の会リーラ（市川乙允） 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-16-12 第二塚本ビル 202 ☎ &FAX 03-5944-5730
KHJ 西東京「萌の会」（井手 宏） 〒167-0051 杉並区荻窪 1-19-4 ☎ 090-8452-8810 ☎ &FAX 03-5397-5372
NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会（田口ゆりえ） 〒331-0805 さいたま市北区盆栽町 190-3 ☎ &FAX 048-651-7353 ☎ 080-3176-6674
NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会（藤江幹子） 〒260-0042 千葉市中央区椿森 1-2-2 志村荘 201 ☎ 090-8491-0971 FAX 043-294-7629
KHJ 神奈川県「虹の会」（安田賢二） 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 12 階 ボランティアセンター 気付 No. ② ☎ 080-2107-1171
NPO 法人 KHJ 栃木県「ベリー会」（齋藤三枝子） 〒321-0954 宇都宮市元今泉 5-9-7 宇都宮市まちづくりセンター まちびあ内 2F ☎ 090-1846-4004 FAX 028-663-5022
グループコスモス（瓜生 武） 〒145-0066 東京都大田区南雪谷 2-11-5 ☎ 080-3255-4161 ☎ &FAX 03-3728-4488
KHJ 静岡県「いっぶく会」（上杉博美） ☎ 090-5036-2552 ☎ & FAX 054-245-0766 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町 25-2

NPO 法人てくてく（山本洋見） 〒432-8054 静岡県浜松市南区田尻町 208-2 ☎ 053-442-6365 ☎ 090-1416-6224
茨城ひばりの会（荒井俊） 〒271-0064 松戸市上本郷857北松戸成川ビル3階フレンズスペース内 ☎ 047-364-7332 FAX 047-362-4065
山梨桃の会（篠原博子） 〒409-0126 上野原市コモアしおつ 1-4-3 ☎ 0554-66-4073
東海ブロック
NPO 法人東海なでしこの会（大脇正徳） 〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 15-13 神宮東ビル A1 階 ☎ &FAX 052-882-1119 ☎ 090-4195-2674
NPO 法人名古屋オレンジの会（山田孝介） 〒453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 サマソシヨウ椿町 304 ☎ & FAX 052-459-5116
豊田大地の会（土田 芳次） 〒466-0812 名古屋市中昭和区八事富士見 1611 サンハイツ八事ふじみ A・406 ☎ 090-4794-5918
北陸ブロック
NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」（三膳克弥） 〒950-0167 新潟県新潟市江南区五月町 1-2-9 ☎ 090-4017-2889 ☎ &FAX 025-382-6912
KHJ 北陸会（所田澄子） 〒920-0813 石川県金沢市御所町丑 57 ☎ &FAX 076-252-4856
とやま大地の会（米谷貞吉） 〒930-0325 富山県中新川郡上市町三日市 2-18（山岡方） ☎ 090-3768-1733
近畿ブロック
NPO 法人京都オレンジの会（稲垣 緑） 〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町 74-3 東山三条ライブ・ソシ ☎ &FAX 075-752-0289
NPO 法人大阪虹の会（前川 実） 〒592-0011 高石市加茂 1-13-26 ☎ &FAX 072-265-2021
NPO 法人 KHJ 「つばさの会大阪」（大塚 洋） 〒573-0027 枚方市大垣内町 1-3-1 マイルビル 4F ☎ 090-4308-4259 ☎ 072-844-2423
KHJ 情報センターふきのとう姫路（櫛橋行雄） 〒670-0896 兵庫県姫路市上大野 1-11-6 ☎ &FAX 079-224-5259 ☎ 090-5046-7134
中国ブロック
KHJ 岡山きびの会（槌谷富子） 〒702-8022 岡山市南区福成 1-128-4 ☎ &FAX 086-262-9335

【本部事務局】 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）
☎ 03-5944-5250 Fax 03-5944-5290 info@khj-h.com
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-4-4
【ご寄付お振込口座】 ゆうちょ銀行 口座記号：00110-6
口座記号：708246
特定非営利活動法人 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）

KHJ 広島もみじの会（藤岡 清人） 〒731-5137 広島市佐伯区美の里 2-1-39-801（岡本方） ☎ 090-7375-6659 ☎ &FAX 082-924-2922
KHJ 山口県「きらら会」（上田十太） 〒759-4102 長門市西深川 2850-3 ☎ &FAX 0837-22-5495
鳥取らくだ会（田中隆雄） 〒680-0074 鳥取市卯垣 5-60-F-4 ☎ 090-4653-2554
四国ブロック
NPO 法人 KHJ 香川県オーリーブの会（川井富枝） 〒761-0104 高松市高松町 2574-9 ☎ &FAX 087-843-9877 ☎ 090-4332-3288
KHJ 徳島県「つばめの会」（高橋浩爾） 〒776-0014 吉野川市鴨島町知恵島 372-6 ☎ 090-1325-2740 ☎ &FAX 0883-24-0507
KHJ 高知県親の会「やいろう鳥」の会（坂本勲） 〒781-5205 高知県高知市一宮しなね 1 丁目 14-10-1 ☎ 090-3184-8109 ☎ &FAX 088-862-0740
KHJ 愛媛県こまどりの会（武田邦寛） 〒791-8012 愛媛県松山市姫原 2 丁目 7-33 サトノ姫原 505 ☎ 090-7578-4214 FAX 089-923-3367
九州・沖縄
KHJ 福岡県「橘の会」（吉村文恵） 〒810-0003 福岡市中央区春吉 1-7-18 竹内ビル 2F ☎ 090-8222-7403 ☎ & FAX 092-731-3091
NPO 法人熊本ランチ（武井敬蔵） 〒860-0072 熊本市花園 7-2435-12 ☎ 096-322-3548 FAX 096-322-3787
KHJ みやざき「橘の会」（植田美紀子） 〒880-0944 宮崎市江南 4-9-9 植田方 ☎ 090-9603-8780 ☎ &FAX 0985-53-2666
KHJ 鹿児島県「橘の会」（福留順一） 〒891-0704 南九州市額娃町別府 1243 ☎ 090-7156-6241 ☎ &FAX 0993-38-1421
KHJ 大分県「大分ステップの会」（松本太郎） 〒879-5102 由布市湯布院町川上 3604-14 ☎ 090-1163-8582
KHJ 沖縄「ていんさぐぬ花の会」（棚原 初枝） 〒904-2171 沖縄県沖縄市高原 7-34-29 NPO 法人サポート センターゆめさき内 ☎ &FAX 098-930-1066